

つ、教育長よろしいですか。

教 育 長 議員おっしゃるように学校教育は当然教育課程の一貫の中で対応されている  
といったところでございますけども、学校長のほうからは特に学校間での情  
報交換だとか、それから教育委員会の相談等はなされて実施しているところ  
でございます。

8 番 昨年はそのような人数制限等あったんで、今年はどうされるかというのは、私  
はここでちょっとやはり一般質問したのは、各小学校規模が違うんです。相  
和小学校の規模、一番大きい大井小学校の規模等々ありますんで、学校長の  
判断で今年度G I G Aスクール構想で各小学校にも各教室に大型モニター等  
入ってると思いますので、もしかすると今後はリモートの卒業式とか入学式  
も可能になるかもしれません。それを含めて、大井町が3つの小学校、中学  
校は1つですけども、全部確実的にやらずにちゃいけない。そうじゃなく  
て、その学校長の判断で適切な卒業式・入学式が工夫されることを望んで、  
一般質問を終わります。

議 長 以上、8番議員、鈴木磯美君の一般質問を終わります。

続いて、通告3番、5番議員、山崎真弘君。

5 番 通告3番、5番議員の山崎真弘でございます。

通告に従いまして、質問をさせていただきたいというふうに思うところで  
ございます。

町の皆さんにおかれましては、新型コロナウイルス感染によって多くの皆  
さんが感染の不安にあるというふうに私は思っているところでございます。

また、緊急事態措置についても、1都3県についてはまだまだ予断を許さ  
ないそういった状況、私は思います。

また、重症感染者数、医療提供体制の影響、これはまだまだ解消されてい  
ない、これが現実でございます。私も医療従事者の一人でございます。患者  
さんに会うと、「いつこの状況が改善されるんだろう」、「もっともっと早  
くに今までと同じような状況に戻りたい」と言っている方がたくさんいらっ  
しゃいます。

そしてまた老人ホーム等に伺うと、多くの入居の皆さんが「家族にも会え  
ないのよ」、またレジャーや中で行われているお楽しみ会というようなもの

もできない。今までともっともっと、今までと同様の生活が送られたらいいと思ってる方がたくさんいらっしゃいます。こういう中のこの苦難をどう乗り越えるのか。どう乗り越えるんでしょうか。

私はこの今のこの状況の中で、この状況で一筋の光が差し込んで来た。私はそう思っています。これが今現状、このワクチンだろうと思うところでございます。

今回のワクチン接種は皆さん御存じのように前例のなき大きなプロジェクトだと私は思っています。どう取り組んでいくのか。町民の皆さんから信頼を得るためには、どうしたらいいのか。私はまず円滑に進むためにもまず町民の皆さんがしっかりとワクチン接種に対して理解をする。私たちも一生懸命に情報発信をしながら知ってもらうこと、そんなことが大切じゃないかなと思うところがございます。私は今回新型コロナウイルス感染症予防接種について質問させていただきます。

まずは、ワクチン接種推進チームの設置状況について。1点目でございます。

2点目、接種スケジュール、接種対象者、順位及び接種予定人数等の現状についてお伺いします。

3番目として、集団接種会場の新型感染症に配慮した運営、接種実施担当者の人員及び体制について。

4番目として、集団接種会場でのワクチン接種の具体的な流れについて。

5番目として、個別接種実施医療機関等の現状について。

6番目として、ワクチン確保、流通についての現状について。

7番目、近隣市町との連携について。

以上、7点について質問をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

町長 通告番号3番、5番議員、山崎議員からは、「新型コロナウイルス感染症の予防接種について」7点の御質問をいただいております、順次回答いたします。

まず初めに、ワクチン接種推進チーム設置の現状についてお答えいたします。昨年10月、各自治体におけるワクチン接種体制確保業務は、平時をはるかに超える量の業務が発生することが見込まれるため、全庁的な準備体制を

確保するよう国から通知が発出されました。これを受け本町では、2月3日に子育て健康課長以下、課員3名、他課からの応援職員2名、計6名体制で子育て健康課内にワクチン接種推進チームを設置し、3月1日からは、会計年度任用職員を1名雇用いたしました。ワクチン接種推進チームでは、国が提示するスケジュール通りに住民へのワクチン接種が実施できるよう、接種方法の検討、住民への速やかな情報発信、近隣市町や医療機関等との連絡・調整等を行っております。

次に接種スケジュール、接種対象者、順位及び接種予定人数等の現状についてお答えいたします。現在、全国では医療従事者への接種が行われております。今後、早くても4月12日以降に高齢者への接種が開始となると国より公表されたところで、その後、高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方の接種が開始され、最後に16歳以上の一般の方の接種が行われる見込みですが、現段階では具体的な日程等については、国から示されておりません。

町内の接種予定人数については、医療従事者が520人、65歳以上の高齢者が4,899人、基礎疾患を有する方が1,091人、高齢者施設従事者が260人、それ以外の16歳以上の一般の方が7,433人で試算しております。なお、町で把握することができない医療従事者等の人数については、国が示す試算方法により算出しております。

次に、集団接種会場の新型コロナウイルス感染症に配慮した運営、接種実施担当者の人員及び体制についてお答えいたします。

まず、足柄上地域1市5町における予防接種の実施方法についてですが、かかりつけの医療機関等で個別に実施する個別接種と、行政が会場を設定して実施する集団接種の2つの方法で実施することといたしました。

集団接種につきましては、各市町で会場を設置するとワクチン接種を行う医師や看護師の不足が見込まれることから、足柄上郡5町はメイン会場を大井町総合体育館に設定し、共同で実施することといたしました。

会場の運営は、国の新型コロナウイルス接種体制確保事業補助金を活用し、業者委託により実施する予定です。実施に当たっての感染症対策としましては、国の手引きを参考とし、会場入り口での検温や、被接種者の流れが滞ら

ないような会場設営、また会場内が密にならないように間隔を空ける工夫などを行い、十分注意をして実施いたします。

接種実施者の人員につきましては、接種を行うレーンを2つまたは3つ設けることとし、各レーンに予診を行う医師が1名、接種を行う看護師が1名、補助を行う看護師または薬剤師が1名の計3名体制で行う予定です。

次に集団接種会場でのワクチン接種の具体的な流れについてお答えいたします。

被接種者の方は、まず受付で本人確認を行い、接種券や予診票の確認を済ませ、不備がなければ医師による問診に進みます。医師による接種可能の判断がなされましたらワクチン接種を受けていただき、その後、別室にて15分程度、過去にアレルギー反応を起こしたことがある方は30分程度健康観察を行っていただき、健康に異常がなければ帰宅していただく流れとなります。

次に、個別接種実施医療機関等の現状についてお答えいたします。

今回のワクチン接種は、基本的には住所地の医療機関で接種を受けていただくこととされておりますが、住民の方の利便性を考慮し、足柄上地域1市5町の住民の方は管内の医療機関であればどこでも接種ができるように医師会と調整を行いました。

その後、医師会を通じたアンケート調査及び職員の戸別訪問による説明を行い、管内の医療機関に協力を依頼いたしました。その結果、多くの医療機関に個別接種を実施していただけることとなり、町内においては、5つの医療機関に実施いただける予定となっております。引き続き医療機関に協力を求めるなど、住民の方が接種しやすい体制づくりに努めてまいります。

次に、ワクチンの確保、流通の現状について回答いたします。

まず、国がワクチンを確保し、都道府県への割当量を決定し、県は市町村への割当量を決定します。それらの情報は国が構築したワクチン接種円滑化システム、通称ブイシス（V-SYS）に登録されます。他方、接種を行う医療機関や市町村はワクチンの必要数をブイシスに登録し、割当量の範囲内でワクチンが分配されることとなります。

ワクチンの搬送については、県が指定した地域担当卸業者により、基本型接種施設に配送され、-75度に対応したディープフリーザーで一旦保管され

ることとなり、そこから接種を実施する医療機関や会場に配送することとなります。本町では、町保健福祉センターを基本型接種施設に位置づけ、そこから配送業者に委託をした上で、町内の医療機関にワクチンを配送する予定でございます。

当初、65歳以上の高齢者ワクチン接種が4月開始予定であったものが、先般、国から「当初は輸入されるワクチンに限られる。」との公表がある中、現在のところ、いつどれだけのワクチンが大井町に配分されるかの連絡はございません。県からの分配の連絡があり次第、速やかにワクチン接種を開始できるよう体制を整備しているところであります。

最後に、近隣市町との連携についてお答えいたします。

これまでもお答えしておりますが、住民の方はなるべくワクチン接種を受けやすい体制を確保するため、個別接種については足柄上地域1市5町で、集団接種については5町で連携して調整を進めております。また、かかりつけ医がいる場合は、小田原市と足柄下郡3町を加えた2市8町の医療機関で接種が受けられるよう調整しております。

さらに、住民の方からの相談対応や集団接種の受付業務についても、スケールメリットを生かすため、5町共同で業者に委託をして実施することといたしました。今後も引き続き近隣市町とはしっかりと連携を行い、国が示すスケジュール通りにワクチン接種が実施できるよう努めてまいります。

5 番 御答弁いただきましたので、再質問をさせていただくところでございます。

まず、設置、この1番のワクチン接種推進チームの設置において2月3日これを設置されたということで、新聞等でも報告があったと思います。その中でこの設置のみの目的というのは、ワクチン接種体制これをしっかりと確保すること、そういうことに尽きると思います。また、実施方法の検討等、そういったこともされるんだろうと思います。

また、コールセンターについてもこれあったと思いますが、実際にはこのコールセンターとこのワクチン接種、このチームとの役割分担というのを少しお伺いしたいんですが。

子育て健康課長 コールセンターにつきましては、町長答弁でもありましたように、まず予約を受けていただくような形の対応になります。また、簡単な相談につきまし

ては、国等の専門機関の相談窓口に御案内したり、また予約に対して不安なこと、簡単なことについては、町民の方にお答えできるような対応をしていくということでございます。また、体制につきましても当初は混雑が予想されることから、人数を多めに調整を取った中で実施スタートするような形でございます。

- 5 番 私は今大井町のこの総合体育館で接種を行われる。ほぼ、もちろん確かに一体になって協力をし合ってやっていく、これはとても大切なことだろうというふうに思います。そうでなくては私はいけないと思っているところですが、しかしながら、やっぱり大井町でやる。そしてまたサブ会場として今山北でしようか、を予定していると。ほぼ大井町主導と言うまでも、言っているのかどうか分かりませんが、ほぼ大井町がかなりの部分で役割を果たすというふうに思っています。

そういう中で、このワクチン接種の対策チームというのは、接種推進チームというのが、人数的なことを含めて今の現状で対応が可能なのかどうか伺いたいと思います。

- 子育て健康課長 現時点につきましては、先ほど町長の答弁にあったように新しい職員2名を増員しまして、6名体制でやっているところでございます。

また、議員御説明のとおり関係4町と合わせた中で連携を進めて取り組んでいるところです。

また、先般国からの供給が遅れているという情報もございますので、現時点では準備の段階ということなので、今後これから先何があるか分からない状況なんですけど、そういった際にはまた町当局本部等の対応で増員等の職員はお願いしたいなということで考えてございます。当面につきましては、現在の人数で十分というか、実施できているような状況でございます。

- 5 番 それでは、次の接種スケジュール等についてお伺いしたいというふうに思っています。具体的に医療従事者が打ち、そしてその後に高齢者、合併症を持った方、打っていくわけですが、そんな中にやはり町内には介護施設等がございます。実際に介護等に従事している方、ヘルパーさん等含めて、実際にかなり遅れて接種をされるというのが現状でございます。多くの方の要望もあるかもしれませんが、やはり高齢者とほぼ同時に打つというのが理想では

ないかなと私は思っているところですが、それについていかがでしょうか。

子育て健康課長 高齢者と並行してといいますか、医療従事者につきましては、国のほうで県を通じて主体になって優先接種の対象として実施しておるところです。近隣につきましても、今月から順次医療従事者に対して接種が始まったという情報が入っております。それを受けて、引き続き医療従事者、診療所等の関係者も打っていくような形になりますので、いずれにしても65歳の高齢者等は先に実施するような形になってございます。

5 番 特にやはりこの介護施設等の方が、新聞等でもあると思いますがクラスターとして原因になっているというケースもありますので、やはり少しでも早い段階で打てるということ、そんなことを期待しているところではございますが、まずあとこの接種のスケジュールなんですけど、実際足柄上だけでも65歳以上、2万4,000人いらっしゃるんです。主に先ほども町長の答弁にございましたが、4,899名ということでございますが、実際にこの接種、個別で接種をする、病院に行く、クリニックに行く、接種をする方も含める訳ですけれども、集団接種をして果たして2か月で終わるのかどうか。

新型インフルエンザのガイドラインあるいは手引き等を見ますと、予診から大体3分。そして、1時間で約20人ぐらいは打てるだろうという結果、データが出てるようではございます。そうすると、8時間はできないでしょうから、7時間、140名、これが限界ではないかなというふうに思っています。そういう中で、実際に週何回ぐらい集団接種を予定されるのかどうか。また、実際に何人ぐらいを予定されるのかどうかということも含めて、先ほどの答弁の中では医師1人、看護師1人、また薬剤師並びに看護師が充填をするということで3名というふうな役割を、先ほどの報告がありましたけれども、となると140名が限界ではないかなと私は思っています。その辺でどのように町はお考えでしょうか。

子育て健康課長 議員お見込みのとおり、1人当たり3分かかる計算で、1時間に20人という計算になります。現時点の予定では、1日の接種時間は6時間を予定して、120人を見込んでいるところではございます。最大先ほども町長答弁でありましたように、3,000といった中で360人が1日の接種人数の対象としているところでございます。

また、週の実施時間につきましては、かなりの期間、かなりの人数が個別接種、医療機関でかかりつけ医等でできる回数が増えてございますので、おおむね週3日程度、またその3日のうち1日は半日程度で済むという計算で2日半ぐらいを実施するようなスケジュールで予定を組んでおります。

- 5 番 具体的に足柄上医師会は今現在90名ほどのドクターがいらっしゃいます。そのうちドクター、会長等にも話を聞くと半数ぐらいが協力的に接種を考えていらっしゃるというふうに伺っているところでございます。やはり私はお医者さんも看護師さんも含めて人間でございます。やはり休みがあって、これはしかるべきだというふうに思っているところですが、実際に週2回から3回の接種、具体的に曜日をお伺いしたいです。

子育て健康課長 具体的な実施日につきましては、確定ではございませんが、山北町のサブ会場もございますので、そことの調整があったり、また南足柄が単独でやる集団接種会場についても、曜日が日曜日、土曜日ということで決まっております。それを含めて大井町の総合体育館につきましては、現在水曜日、木曜日、日曜日を予定しているところでございます。

- 5 番 実際に水曜日、木曜日、日曜日でそのうちの1日は半日ぐらいということですが、先ほど答弁にあった医師3名体制ということではよろしいですか。時には2名体制というのもあるのでしょうか。

子育て健康課長 先ほど山北会場もサブ会場ということで設置しますので、それと同じ日になった場合は、仮に大井町最大で3レーンということでしたが、2レーンで運営して、山北会場のほうが1レーンということも十分考えられますので、そういった形で調整はさせていただく予定です。

- 5 番 ということは、見込みどおりほぼ3か月。4月の高齢者については4月12日から仮にスタートした場合には、6月には何とか終わるという計算でよろしいでしょうか。

子育て健康課長 4月当初からを予定していた中で、6月までというちょっと若干余裕を持ったスケジュールで、9週間で65歳以上の接種の方、打っていただくような形になってたんですが、ここへ来て12日という日も実際のところその供給数が具体的にこちらの市町に来るかという状況もございます。12日から始まらない場合は、恐らく最終的には26日からスタートという全県的な配布がされる

という情報が入っておりますので、そうなりますと非常に6月までという事で2か月ちょっとしかありませんので、厳しい状況になってございます。この辺につきましては、今後ちょっと急遽スケジュール感を調整させた中で、実施のほうをさせていただきたいと考えてます。

- 5 番 私は先ほども同僚の議員からもお話があったと思いますが、3分。そして1時間に20人と。そしてその時間が6時間ないし7時間ということでの計算だろうというふうに思うんですが、やはり3分の接種で終わるためには、やはり予診票というのを全ての高齢者に事前にお渡しをする、あるいは見ていただく、書いていただくということが必要になってくるんじゃないかなというふうに思っています。

実際に集団接種のときにその場で書くというのは、かなり時間がかかることではないかなと。そしてまた、この先ほどの集団接種会場での新型感染症に配慮した運営になっているかどうか、これは非常に問題ないということではございましたが、15分待つ、あるいは30分待つということを考えますと、その予診票を記入するというのもっと早い段階で書いていただいて、すぐにも見せて接種する体制にあるということが必要ではないのかなと思うんですが、町としての考えをお伺いしたいと思います。

- 子育て健康課長 先ほどの他の議員からも御質問であったとおり、予診票につきましては事前に接種券、クーポン券と一緒に同封した中で、記入表もそういった中でお知らせした中で、事前に記入していただくような形が、時間を取らないということを考えてございます。

ただ、全員が書いて来られないということも想定されますので、記載台等は多めに設定した中で、その場所ということでもなろうかと思えます。

- 5 番 これは先ほど、目の不自由な方というふうな話もありましたが、全ての高齢者、そしてまた合併症を持つ方と考えてよろしいんですね。

- 子育て健康課長 全ての65歳以上の対象者ということで、住民登録がある方に送付する予定でございます。

- 5 番 それから、今度の個別接種、医療機関等の現状についてお伺いしたいというふうに思っています。

先ほども申しましたように、医師会の先生方は90名会員の先生がいらっし

やるというふうにお話をさせていただきました。そしてそのうちの半分の約40名から45名の先生がそれに対して協力をもって接種をしてくれるというような話がありました。実際にこの町内のクリニック、あるいは医院等の先生方はどのような状況になっているのか、分かればお伺いしたいんですけど。

子育て健康課長 現時点で確定しているものにつきましては、先ほど町長答弁があったように、5つの町内の医療機関で個別接種が可能というような状況です。ただ最初にワクチンが対応となりますファイザー製のワクチンにつきましては、取扱いが非常に難しいという、ディープフリーザーで保管しなければいけないということで、それにつきましてはの対応は今のところ3つの医療機関ということの情報です。

5 番 また、この大井町の先生方に、かかりつけの先生というのがいらっしゃる住民の皆さんもいらっしゃると思います。そしてまた、南足柄や、あるいは開成やいろんなどころでかかりつけのところを持たれているという方はいらっしゃると思います。実際現実先生方と話をしてみると、どうしてもかかりつけの病院、あるいはクリニックじゃないところには、なかなか行けるような状況じゃないなというような話もされていた先生もいらっしゃいます。そして、実際にインフルエンザの予防接種をされている方はアレルギーの症状であったりとか、今までの副反応等の状況についてもしっかりかかりつけの先生は御理解をいただいているところだというように思います。それ以外になかなか行けない方が集団接種の対象になるんだというふうに思います。そういう中でも、やはり町の先生方はそのように考えられている先生が多いので、集団接種の方が非常にそれ以上にもっと多くなるのかなという気もするんですね。ですから、その辺でやはりどのような今後の対応をするかということが非常に大切になってくるのかなというふうに思います。特にこの大井町のクリニックさんには専門の先生もいらっしゃるでしょうし、非専門の先生でワクチン接種をするところもあるのではないかというふうに思うんですが、その辺についてやはり投げかければ打つよというふうな方もいらっしゃるかもしれませんが、でも実際にはかかりつけじゃなかったりすると非常に不安な状況に置かれる住民の方もいらっしゃると思います。その辺についていかがでしょうか。

子育て健康課長 議員御指摘のとおり、やはり個別接種に行っていただくというのは、御本人さんの持病の御相談になれるということで、一番接種しやすいかなということでは町としても考えてございます。ですので、町内の医療機関には引き続き基本型接種施設ということで町からそういった小分けのワクチンを配送できる体制を構築して、十分説明していただいた後に接種に御協力いただければということ考えてございます。

5 番 それでは、ワクチンの確保・流通について、ちょっと話をさせていただきたいというふうに思っています。

先ほど町長の答弁にもございましたように、ワクチンがファイザー製のワクチンであればドンとワクチンが届き、そこから卸売、薬の間屋さんが薬を持って行っていく。そんな状況だろうというふうに思っているところだと思うんですが、実際のところこれから後に出てくるお薬については卸売の薬の間屋さんが、それぞれの開業医さんに向けて、あるいはクリニックに向けて、病院に向けて配送する、お届けをするという状況になるんだと思うんです。このファイザー製のワクチンの場合にはドンと届いて、この入っているものというのが196バイアル、約1,000人分になろうかと思います。それを各クリニックさんに届けるのは、これはもう確実にこの卸売の間屋さんでよろしいでしょうか。

子育て健康課長 県からの配送につきましては卸業者になります。ただ基本接種型に届いた町からの、保健福祉センターになりますが、そこからの配送については個別の配送業者、専門業者をお願いする形になります。

5 番 その専門業者というのは、宅急便等のそういった配送の会社ということでもよかったでしょうか。

子育て健康課長 議員のお見込みのとおり、専門の配送できる業者がいくつか御相談来ていますので、選定して委託のほうをさせていただきたいと考えてございます。

5 番 実際にはかなり選定の業者さんが幾つかあるということですが、この医学系のお薬、先般の報道にもありましたが、かなり振動に対して、振動させることによって効果が減弱してしまうのではないかとか、そういった報道もございます。また、この温度において-75から-65をしっかりと保つこと。そしてまた、それをまた小分けする場合には2度から8度の状況の中で

5日間というようなことも言われておりますが、その辺については心配ない業者さんであるのでしょうか。

子育て健康課長 そういった今の状況の、十分ワクチンの状況を管理できるということの事業者にはお願いする予定でございます。

5 番 実際に195バイアル、それで195バイアルが約1,000人分になろうかと思うんですが、それを各医療機関に分けるわけですが、実際にその医療機関からどれだけの人を接種するんだというような報告は上がってくるのでしょうか。

子育て健康課長 先ほど町長答弁の中でありましたように、1市5町の各医療機関につきましては御協力をいただくということでお願いが上がった中で、1週間で接種できる人数を各医療機関から拾い上げてございます。それを基に予約状況等を鑑みて、町等からの基本型接種施設から運ぶという形で、その数量をもって各医療機関にお届けするという形になると思います。

5 番 特にこのファイザー製のワクチンの場合には、管理が非常に難しいというのがあります。つい先立っての中でも、この-75から65に設定する以外に、もう少し軟らかくしてもいいじゃないかというような報告もありますので、その辺をまた随時そういった報告が出れば配送する方も安心してできる部分ではないのかなというふうに思っています。特にこのワクチン、最初に打つ高齢者、また合併症等を持った方の接種というのはファイザー製のワクチンになろうかと思えます。ぜひその辺も含めてきっちり無駄のないようにやっていただければいけないというふうに思っています。実際その報告というのは、大体日々変化ををすると思うんですが、それは随時報告に上がってくるのでしょうか。

子育て健康課長 各医療機関の個別接種の人数の報告につきましては、まだ具体的な手順、いつ、先まで予約入れてそういった状況を日々更新するのかという、医療機関との御相談があらうかと思えますが、十分調整しながら確実な人数を把握した中で配送等したいと考えてございます。

5 番 さてそれでは、近隣市町との連携について、改めて町長にお伺いをしたいんですが、やはり先ほども申しましたように、大井町がメイン会場になるということ、サブ会場が確かに山北ということでございますが、先ほど言っていた2万4,000人という、この上郡の5町の町の65歳以上の方の人数でございま

す。やはりこの5町がしっかりと連携をするということが、また情報共有をするということが非常に大切だろうと思うところがございます。改めて町長から、もう一度繰り返しになるかと思いますが、表明をしていただきたいというふうに思います。

町長 山崎議員の御質問にお答えいたしますけども、この話が出るのは、発表した以前から町長同士でちょっと話合いをした中からもそういった声が上がってきて、正式発表の前に5町で集まりまして、町長といえどもその医療的なことは全て専門ではありませんけれども、とにかく皆一緒になって協力してやりましょうということで、意思統一した中で正式に先立って山北町が町村会の会長をやっておりますので、本来大井町でやりましょうかという話もあったんですけども、会長だからということで、やっぱり会長さんがいるところでやりましょうということで山北町役場を利用させていただいて記者発表というような形でやらせていただきました。そういうわけで、5町で連携した中でしっかりと手を組んで、そしてまた職員の今推進チームを大井町だけで結成しておりますけれどもね、状況に応じた、当然他町との応援も必要となる場合も出てくると思いますので、その辺も含めてしっかりと対応していきたいと思っております。たまたま大井町がちょうど会場として中心的な位置状態にあるということと、駐車場が広いということがありましたので、他町から来るに当たっても一番いいだろうと。山北の奥のほうに民家がありますので、山北からは、できたら山北ちょっと奥のほうの人が来やすいようなところにひとつということで、じゃあ健康福祉センター、山北第2会場という形となりまして、寄には診療所が1軒ありますので、寄の人は診療所でできるだろうということで、サブ的な意味合いで診療所になりました。中井町から来るのが大変だなという点では中井町も考えていたみたいなんですけど、ちょっと会場的にうまく話ができないというようなことで、大井町にちょっと遠方ですけども、バス等を利用した中で来るような予定であると聞いております。いずれにいたしましても5町の中心的な位置にあるということで会場を設定いたしまして、これは協力するしかないということで、協力すべきだということで了承した中で実施させていただく運びとなりました。

5 番 あと、ちょうど1分ございます。最後に、私は日本でもこの医療従事者から

ワクチン接種が2月から始まっております。ほかの国よりも2か月遅れ、一方で残念だとは私は思いますが、一方ではほかの国の今のこのデータを見て方針を修正できるというメリットが私はあると思います。民族によって効果や安全性に差はないというようなデータも出ておると思っています。しかしながら日本人のデータはどうなるのか、そんな検証も必要だろうというふうに思っています。私は町の皆さん一人一人が新型コロナワクチンの信頼、まずはこの情報公開、皆さんに知ってもらい、それこそが大切だろうというふうに思っています。私はこのワクチン接種が、町の皆さんが円滑に接種ができるように望んでいるところですが、このようなコロナという苦難に勝る私は教師はないと思っています。この時代に生まれた者の責任として、コロナ禍に遭遇した世代の責任として、若い世代にもしっかり見てもらい、そんなことが大切だと思います。そんなことを期待をして私の質問を終えさせていただきます。御清聴ありがとうございました。

議 長 以上で、5番議員、山崎真弘君の一般質問を終わります。

ここで、昼食休憩といたします。再開は13時とします。

( 12時02分 休憩 )

( 13時00分 再開 )

議 長 休憩を解いて再開いたします。

それでは、引き続き一般質問を行います。

通告4番、10番議員、田村俊二君。

1 0 番 通告4番、10番議員、田村俊二です。

通告に従いまして、

1、デジタル社会形成に向けた取組みは

2、ICT活用・GIGAスクール構想、デジタル化の取組みは

の2項目を質問いたします。

1項目めは「デジタル社会形成に向けた取組みは」です。コロナ禍でPCR検査数がなかなか増えなかったこと、特定給付金の現金支給がヨーロッパ等に比ベスピーディに行われなかったこと、休校でのオンライン授業にも環境整備が整っていなかったことなどに対し改善が進められているところであります。また、国連発表の電子政府ランキングでは、2008年10位から、2020

